

青少年もがみ

第18号 平成25年8月1日

—発行—

最上地区青少年育成連絡協議会



「平成25年度の活動にあたって」

最上地区青少年育成連絡協議会会長 矢口 信一

最上地区の両協議会が統合し、一緒に活動した初年度の総括で、本地域では少年の非行率が他地域に比し低い状態にあり、多くの青少年は健やかに成長していること、ボランティア活動やスポーツ活動などの面でもめざましい活躍がみられるという報告がありました。これも協議会員の皆様の健全育成に携わる変わらぬ精神力と、強力な地域の教育力の賜と考えております。

しかし、子どものいじめは自殺者が出るなど、大きな社会問題となり、「いじめ防止対策推進法」が制定されました。本県では昨年、教育に対する関心と理解を深め、教育を支える文化や風土を育むため、11月第2土曜日を「やまがた教育の日」に、11月を「やまがた教育月間」と決めました。そして“「いのち」輝く七つの約束”の啓発活動を通して、地域や家庭での実践を呼びかける運動も始まりました。

さらには、今年の県民会議総会において「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動に取り組むことが決まりました。最上地区においても、この県民運動を進めるための推進協議会を組織し、いじめの防止・根絶に向けて学校・家庭・地域が連携して取り組み、「いじめ・非行を許さない、見逃さない」地域づくりを進めていきます。

青少年の健全育成の原点は、各地域で取り組まれているように、子どもたちとの自然体験などを通して、地域の良さや楽しさを共感し、夢や希望を持てるように共同することだと思えます。

最上の心やさしい少年少女を守り、慈しみ、いい芽をいっぱい育むことが強く期待されていることを心に刻み、共に運動を推進していきましょう。

発足2年目の最上地区青少年育成連絡協議会

昨年6月に、「最上地区青少年育成市町村民会議連絡協議会」と「最上地区青少年育成推進員連絡協議会」が統合し、「最上地区青少年育成連絡協議会」が発足してから丸1年が経過しました。将来を担う明るく元気な最上地区の青少年の育成を目指し活動してきましたが、平成25年6月13日に、総会を開催、この一年間の活動を振り返るとともに、今年度の事業について協議しました。

1. 役員

- ◇会長：矢口 信一（戸沢）
- ◇副会長：大山 孝一（新庄）、 笹原 祐一（金山）
橋本 正（最上）、 矢口 智（大蔵）
- ◇監事：小松 功（真室川）、熊沢 健（大蔵）

2. 平成25年度 主な事業

- 青少年育成活動情報誌「青少年もがみ」第18号・19号の発行
- 「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の推進
「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の推進
：両運動とも重点期間は7・8月、11月
- 有害図書類立入調査及び収集：地区内の本屋・コンビニ二等
- 平成25年度「青少年健全育成県民大会」：11月10日（日）鶴岡市
- 地区青少年育成推進員研修会：予定 11月16日（土）真室川町中央公民館
- 地区青少年育成懇談会：12月7日（土）新庄市民プラザ
- 地区青少年育成推進員機関紙「たづな」第38号の発行：3月予定



総会で挨拶する矢口会長